

「新しい国語」は、考えました。

学力の向上のために



「新しい国語」編集委員会では、教科書を編集するにあたり、PISA調査や全国学力・学習状況調査の結果を綿密に分析しました。また、評価問題を制作する部門と協働しながら、蓄積されたデータをもとに、生徒が苦手とするポイントも把握してきました。そうして見いだした課題に真剣に向き合い、解決するための手立てを教科書の随所にちりばめました。本資料では、次の三つのポイントを紹介します。



ポイント

1

複数の情報を結び付けて考えをまとめる力



2 ページ

■ 情報を抽出し、要約する力

■ 文章と図表を関連させて読み解く力

ポイント

2

根拠を挙げて結論を述べる力



3 ページ・4 ページ

■ 事実と考えの区別など、情報を精査する力

■ 根拠からの確に結論を導き出す力

ポイント

3

目的に応じて評価し、考えを伝える力



5 ページ

■ 目的に応じて評価する力

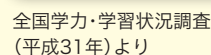
■ さまざまな条件に従って考えを記述する力

身につけた力を総合的に活用するため



6 ページ

情報を抽出し、要約する力



正答率
62.2%

全体と部分との関係を踏まえて、目的に応じて情報を抽出し、要約する力をつけます。

③ 「これで謎は一つ解けました。」(103頁)とある。その謎の答えを、次の二通りの仕方では約してみよう。

- 百五十字程度で簡潔に要約する。
- 文章の流れに沿って三百字程度で要約する。

要約の仕方↓
284ページ

1年p.97「私のタンポポ研究」



一・二年の資料編には、要約するための知識・技能がまとめられています。

① 具体例を削る

書き手は、言いたいことを分かりやすく伝えるために、具体例を挙げて説明する。具体例は、「例えば」「一例を挙げれば」などの接続する語句に続けて述べられたり、「……の」「……のように」といった語句を伴って述べられたりする。

要約するとき、具体例は多くの場合削ってよい。

日本食には大豆を使った食品が多い。
納豆などは大豆食品だ。

例えば、みそ、豆腐、

日本食には、みそ、豆腐、納豆など、大豆を使った食品が多い。

日本食には大豆を使った食品が多い。

1年p.284「要約する」

文章と図表を関連させて読み解く力

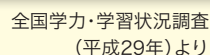
一【資料】の「年代別」の「――（イ）上下を気にしないでよい」のグラフから分かることについて、文章中ではどのように明かされていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

1 —線部① 本来の意味ではない(イ「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合 29.2%)

2 —線部② 「分からない」と回答した人が1割弱

経済部④「反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近い」

46.6%



文章に書かれた情報を、図表と結び付けながら適切に理解する力を身につけます。

スズメは本当に減っているか

2年p.55「ハトはなぜ首を振って歩くのか」

2年p.276「スズメは本当に減っているか」

更に、文章の情報を図や表にまとめて分かりやすく整理することを集中して学ぶ教材もあります。

複雑な情報は、適切な項目を立てたうえで、表を使ってまとめよう。

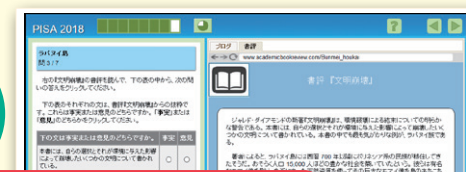
複雑な情報で頭がごちゃごちゃしてきたら、実際に手を動かして図や表を書く習慣をつけよう。きっと、すっきりと理解できるようになるよ。

2年p.230「情報を図や表に整理する」

根拠を挙げて結論を述べる力

事実と考えるの区別など、情報を精査する力

習熟度
レベル5
(全体の約13%)



右の『文明崩壊』の書評を読んで、下の表の中から、次の問いの答えをクリックしてください。

下の表のそれぞれの文は、書評『文明崩壊』からの抜粋です。これらは事実または意見のどちらですか。「事実」または「意見」のどちらかをクリックしてください。

下の文は事実または意見のどちらですか。	事実	意見
本書には、自らの選択とそれが環境に与えた影響によって崩壊したいくつかの文明について書かれている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
中でも最も気がかりな例が、ラパヌイ族である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
彼らは有名なモアイ像を彫刻し、身近にあった天然資源を使ってその巨大なモアイ像を島のあちこちに運んでいた。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1722年にヨーロッパ人が初めてラパヌイ島に上陸した時、モアイ像は残っていたが、森は消滅していた。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
本書は内容がよくまとまっており、環境問題を心配する方にはぜひ読んでいただきたい一冊である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

PISA調査2018より

事実と考えるって何となくは分かるけど、区別するにはどうしたらいいのかな。



「新しい国語」では……

●事実とは何か、考えるうち推測と意見とはどのように違うのか、それらはなぜ区別する必要があるのかなど、情報を精査するための基礎を育成する教材が用意されています。

事実 …… 確かなこと
人によって違うかもしれない

推測 …… まだ確かめられていない事実についての考え
↓ もっと調べよう

意見 …… ある事柄をよいと思うかどうか
↓ もっと話し合おう

考えにすぎないことを、事実のようにして受け取ってしまうと、どうなると思う？

考えだったら、もっと調べることが、もっと話し合うことがなくちゃいけないのに……

考えを事実だと思ってしまうと、もう調べる必要も話し合う必要もないことになっちゃう！

1年p.230「事実と考えを区別する」

●更に、情報の信頼性を考えながら文章を読むといった、メディアリテラシーを育成する学習もあります。

言葉の力 情報を見極める

情報を見極めるには、次のことに注意する。

- ニュースなどの情報は編集されたものであり、映像や写真も事実の一部を切り取ったものである。
- 発信者が専門家であるか、また公平な立場であるか。
- 同じ話題について、異なる考え方を伝える情報はないか。

1年p.184「ニュースの見方を考えよう」

根拠からの確に結論を導き出す力

正答率
60.9%

根拠って何？ 結論を論理的に述べてどういうことだろう。

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらさを感じたり、段差に気づかずにつまづいたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさん来られます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

ネットにそのようなニュースが出ていたんですね。掲示物で注意を促すのはいいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁制」という掲示物がありますが、掲示や発表を見に来てくださいる方に対する言葉の使い方は、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

山下さんも気づいていたんですね。それに、例年、掲示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

山下さん、掲示や発表の場所は美術室と校内のあちこちにあるので、移動するときに目印を渡せると思います。具体的な経路の所や発表の場所が決まったらから機嫌よく、それでは、今日の話し合いですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりだと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていなかったことがあります。

全国学力・学習状況調査(平成31年)より



「新しい国語」では……

●根拠とは何か、根拠からの確に結論を導き出すにはどうすればよいかを、例題を通して学べます。

問題 次の発言の中で、根拠を挙げて自分の考えを述べているものはどれか、選びなさい。

⑦ 高志 この箇所は試験に出ると思うよ。というのも、授業のときに先生はこの箇所を強調していたからね。

① 理奈 京子さんは図書館に漫画を置くのはおかしいと思うけれど、私は図書館に漫画があってもいいと思う。

② 優馬 エッフェル塔があるのはニューヨークじゃないよ。パリだよ。

⑤ 京子 犬のほうが猫より飼い主に忠実だ。だから、私はペットを飼うなら猫より犬のほうがいい。

1年p.234「根拠を挙げて考えを述べる」

●根拠などに着目しながらお互いの考えを理解し、話し合っている意見をもとめる活動が設けられています。

話し合っている意見をもとめる活動が設けられています。

なぜ、救急車がすぐに出勤できることが重要な？

③ 救急車がすぐに出勤できる

④ 救われる人が増える

そうすると

② 消防署に救急車が待機できる

軽傷者やタクシー代わりの利用が減る

① お金がかかる

救急車を有料化するとどうなる？

メリット・デメリットの価値を考える。
「なぜ重要な？」

より大きなメリット・デメリットがないか考える。
「そうするとどうなる？」

テーマからメリット・デメリットまでの道筋を埋めていく。
「どうしてそうなるの？」

2年p.193「話し合っている問題を検討しよう」

根拠を挙げて結論を述べる力

二〇〇三年の「PISAショック」から今日に至るまで、読解力に関する課題は常に解決が図られてきました。しかし、なかでも「根拠を挙げて結論を述べる」ことは、十数年の歳月を経ても、依然多くの生徒が苦手とするポイントといえます。「新しい国語」では、そのような実態に鑑み、根拠を挙げて結論を述べる力が確実に習得されるように、教科書の構造・教材の内容を考えぬきました。

「根拠を挙げて結論を述べる力」を習得するための仕組み

●「読む」の〈吟味・判断〉系統では、論証を吟味しながら文章を読み解きます。学んだことを、続く「書く」や「話す・聞く」の活動に生かすことで、確かな力を身につけます。更に、基礎編「学びを支える言葉の力」で鍛える基礎的な力も、本編の学習に効果的に生かすことができます。

3年			
4 多面的に見る	読む〈吟味・判断〉 幸福について	書く〈論証・説得〉 観察・分析して論じよう	話す・聞く〈話す〉 場面に応じて話そう

2年			
4 説得力を高める	読む〈吟味・判断〉 黄金の扇風機 サハラ砂漠の茶会	書く〈論証・説得〉 根拠を吟味して書こう	話す・聞く〈話す〉 説得力のある提案をしよう

1年			
4 考えをまとめる	読む〈吟味・判断〉 私のタンポポ研究	書く〈論証・説得〉 根拠を明確にして書こう	話す・聞く〈話す〉 中心を明確にして話そう



積み上げる



深める・生かす

本編



学びを支える言葉の力		基礎編
論理的な言葉の力		
〈議論する力〉	〈分析する力〉	
根拠を挙げて考えを述べる	事実と考えを区別する	1年
質問する・反論する	論証の説得力を見極める	2年
合意を形成する	論理的に読む	3年

「書く」の〈論証・説得〉系統では、意見文や批評文を書く活動が設けられているんだ。

読む〈吟味・判断〉

●主張の異なる二つの評論文を、比較しながら読み解く教材が用意されています。



書く〈論証・説得〉

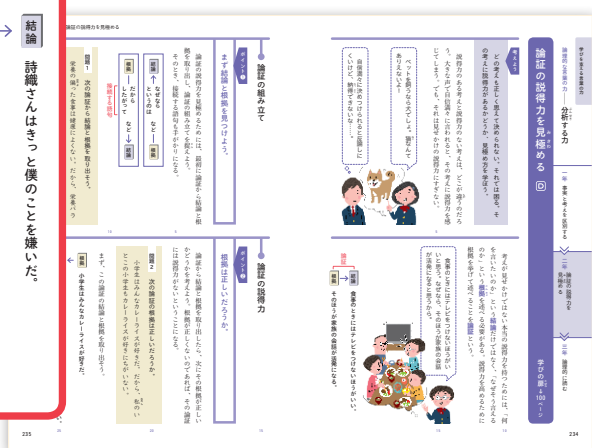
●根拠を吟味して意見文を書くなど、論理的思考力を育成するための言語活動が多数設けられています。



学びを支える言葉の力

〈分析する力〉

●根拠が適切か、そこから結論が正しく導かれているかを、集中的にトレーニングできる教材もあります。



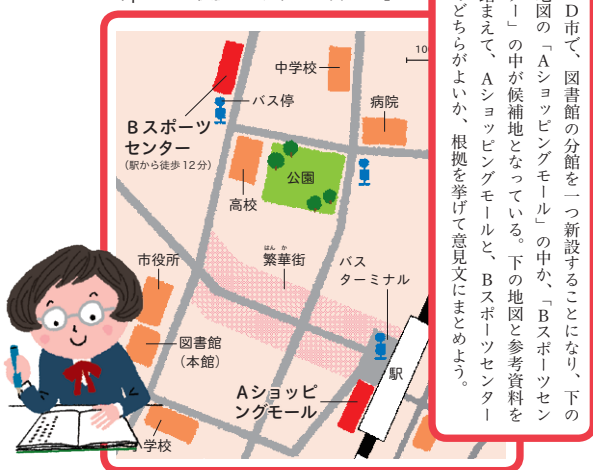
2年p.90「黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会」

言葉の力

読み比べて考えを深める

- 複数の文章を読み比べるときには、次の点に注意する。
- 共通点や相違点に注意して、それぞれの主張を捉える。
- それぞれの文章で、考えの根拠が正しいか、また、その根拠から考え（結論）が適切に導かれているかを吟味する。
- 自分の知識や体験とも結び付けて、自分の考えを深める。

2年p.101「根拠を吟味して書こう」



2年p.234「論証の説得力を見極める」



目的に応じて評価し、考えを伝える力

目的に応じて評価する力

5 次に示すのは、選挙啓発をテーマに描かれたポスターA、Bと、それらのポスターについて書かれた批評文I、IIです。これらを読んで、あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

《ポスターA》

物事を評価したり、批評文で考えを伝えたりするには、どうしたらいいんだろう。

（平成27年度宮城県開明の選挙啓発ポスターコンクール「賞作品」）

若者も!! みんなで行こう 明るい選挙

投票箱

平成30年高校入試(岩手県)より



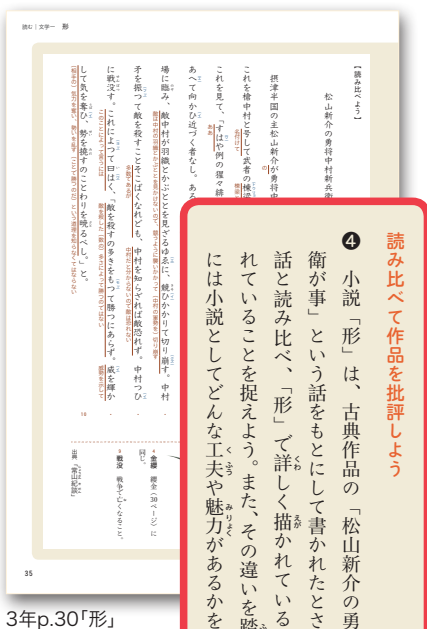
「新しい国語」では……

● 観察・分析したり比較したりする教材が豊富にあります。さまざまな素材を使って、説得力のある批評文を書く活動に取り組むことができます。

● 更に、小説と古典の比較を手がかりに、文学作品を批評する教材も用意されています。



3年p.107「観察・分析して論じよう」



3年p.30「形」

さまざまな条件に従って考えを記述する力

【条件】

- 「 」に選んだ「ことわざ」を書く。
- 二段落構成とし、各段落の内容は次の3、4のとおりとする。
- 第一段落は、その「ことわざ」を選んだ理由を、【資料】を踏まえて書く。
- 第二段落は、選んだに関連して、どんなことに取り組むかを書く。
- 原稿用紙の使い方に従い、百八十字以上、二百二十字以内で書く。

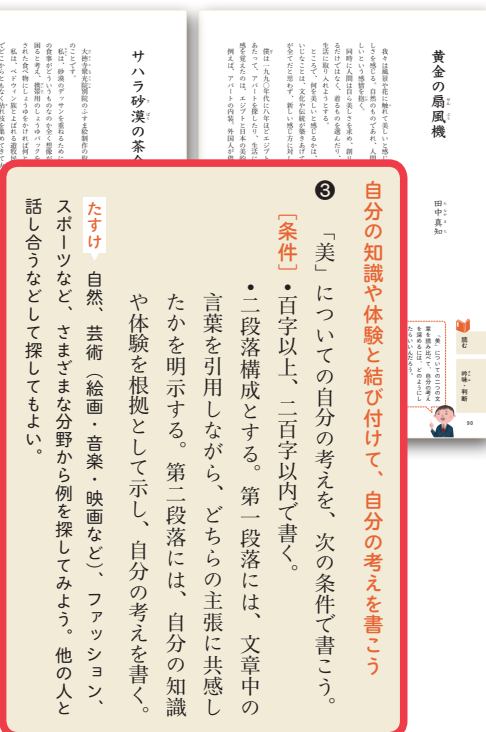
自分の考えをしっかりとまとめるのって難しい。どうすれば、うまくまとめられるようになるんだろう。

（平成30年高校入試(富山県)より）

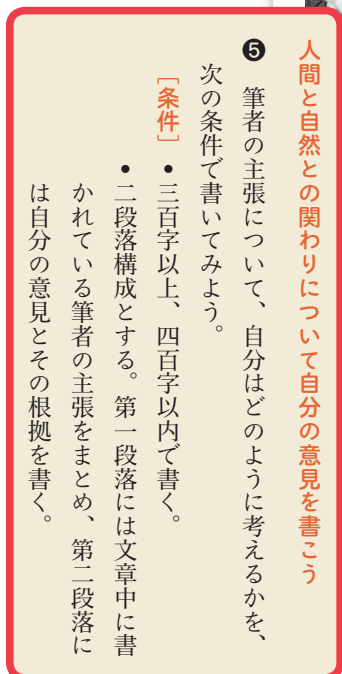


「新しい国語」では……

● 構成や字数などの条件に従って、根拠を挙げて自分の考えを記述する問いが豊富に設けられています。



2年p.90「黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会」



3年p.63「絶滅の意味」

●課題を発見し、解決する方法を考える

三年資料編の「自然との共存——小笠原諸島」は、中学校で身につけた力を活用しながら、人間社会と自然との関わりについて考えを深める教材です。提示された課題を解決するためには、さまざまな資料の情報を精査・解釈し、考えをまとめる必要があります。

●さまざまな情報を精査・解釈して考えを深める

●新聞記事、計画書といったさまざまな実用文を読み比べることを通して、課題の背景を理解します。加えて、地図や広告、図表やグラフといった非連続型テキストから読み取れる情報も精査・解釈しながら、課題解決に向けて考えを深めます。

考えよう

貴重な生態系と、島に住む人々の生活とともに守るためには、どうすればよいのだろうか。次ページ以降の資料②と③を読み比べ、資料④～⑥を参考にしながら考えよう。

たすけ

- ・世界遺産を観光地にするメリット・デメリットは何だろう。
- ・空港を作ると、どんな変化が起こるか、予想してみよう。

いろいろな資料の情報を結び付けて考え、自然と人間と、両方の観点から総合的に判断する必要があるようだ。

答えは一つに定まらない。だから、複数の情報をもとに、自分の考えとその根拠をきちんとまとめることが大切なんだ。



二〇二一年から導入される大学入学共通テストでも、複数の文章を読み比べたり、文章と図表とを結び付けて解釈したりしながら、課題解決を図る問いが出題されるなど、大学入試センター試験からの大きな変更が予想されます。それも見据え、中学校では、基礎的な言語能力を確実に習得し、活用する力を養っておく必要があります。

